

令和6年度 事業報告書

事業所名		ワークセンターあいの		実施事業名		就労継続支援 B 型事業									
事業方針	・「平均工賃月額」に応じた報酬体系を継続し、作業効率、生産性の向上を目標に掲げて取り組んでいく ・障害特性の理解を深め、適切な支援の提供を行う事ができるように、積極的に研修会や施設見学等への参加を計画実践する。また、事業が行っているサービスについての理解を深めるため事業所内研修会を行う ・個別支援計画の充実と計画に沿った支援を行い、技術や精神面での向上を図ることが出来るように支援力強化に努める ・各関係機関と連携しながら、生活の質の安定、精神の安定を図り、利用者の方々が安心して活動へ参加できるように努める ・定員25名で実施する														
	短期目標(1年以内) ・平均工賃30,000を目指す → 30,950円となり達成 ・厨房作業を充実させるため、増改築を行う → 現在の作業種目を再構築する計画が上がっているため保留としている ・菓子箱折り作業班の高齢化に伴う次世代育成(現在60歳以上7割) → 10月に一部作業班移動を行った ・登録者を31名から35名に増やし、作業達成量を維持しながら施設外支援や一般就労への送り出しを図る → 年度末登録者数33名 新規契約者4名(特別支援学校より2名、一般就労より1名、生活介護より1名) 契約終了者3名(長期入院1名、介護保険1名、自宅1名) ・個別支援計画を支援者へ浸透させる事により、個々の特性を生かした支援技術の向上を図る → 毎月活動毎の会議を開催し、支援内容の一本化や状況把握を行った														
令和6年度の重点目標に対する事業の成果			月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	営業日	予定	26	25	25	26	25	25	27	25	25	23	24	26	
		実績	26	25	25	26	24	25	27	25	24	24	24	26	
	目標数	予定	702	675	675	702	675	675	729	675	675	621	648	702	
実績		590	574	535	595	566	581	634	583	575	568	535	626		
今後の課題	・作業支援に加え、生活支援の強化(専門知識の習得) ・経済状況の変化に伴い、下請け作業の不安定さが増しているため、現在提供している作業種目の見直し ・特別支援学校の現場実習から、卒業後の利用に繋がる流れが継続するよう対応する ・実習及び取引企業の開拓を行う(R7 年度までに1名の就職生を出す)														

令和6年度 事業報告書

事業所名	アクティビティセンターあいの	実施事業名	放課後等デイサービス																																																																									
事業方針	・家庭、学校、関係機関との連携を図り、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進を行い、学校や家庭とは異なる時間・空間・人・体験等を通して、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」「子どもの育ちを支える力をつけれるような支援」を行いながら、子ども発達を共にサポートしていく ・言語聴覚士等の専門職の協力により、発達段階に合わせた課題を用いた療育を行いながら、発達の特性や思春期の体の変化に応じた支援を実施するための研修会等へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・自立支援協議会への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・キッズステーションあいの・ワークセンターあいのと連携し、子どもの成長（ライフステージ）に沿った支援、将来を見据えた支援を行う ・定員10名で実施する ・地域生活支援事業（日中一時支援）を実施し、日中一時の支援を必要とする方の受け入れを行う																																																																											
令和6年度の重点目標に対する事業の成果	短期目標（1年以内） ・一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、支援者はこどもの成長のための助言ができる力を身に付ける → 家族との関わりとしては日々の送迎時や電話・メールなどを活用し子ども日々の様子や学校での様子、下校時間の確認を行っている。新たに職員が増えた事により、個別の活動を取り入れる事が出来るようになったため、家族や子どもが希望する支援を取り入れて行きたい。家族や児童への助言に関しても職員間で共有しながら行っている ・個別支援計画書等において5領域とのつながりを明確化した上でプログラムを作成し、総合的な支援を行う →令和6年度より新たな個別支援計画の様式を用い、5領域とのつながりを示している。1月より専門的個別支援計画を作成し個別支援を実施しており、引き続き支援内容を充実させ取り組んで行きたい <table><tr><td colspan="2"></td><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td></td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>25</td><td>24</td><td>23</td><td>23</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td></td><td>26</td><td>26</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>25</td><td>28</td><td>25</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td></td><td>260</td><td>250</td><td>250</td><td>270</td><td>250</td><td>250</td><td>270</td><td>250</td><td>240</td><td>230</td><td>230</td><td>260</td></tr><tr><td>実績</td><td></td><td>316</td><td>275</td><td>284</td><td>315</td><td>298</td><td>313</td><td>299</td><td>294</td><td>292</td><td>256</td><td>262</td><td>298</td></tr></table> 年間営業日（予定） 301日（実績） 304日 延べ利用者数（予定） 3,010名（実績） 3,502名 利用平均（予定） 10名（実績） 11.6名 ※追加説明 ・新規契約：R6.4月3名 ・契約終了：R6.6月1名、R7.2月1名、E7.3月1名 （R6年4月の登録者28名、R7年3月末時点で登録者25名）					月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	営業日	予定		26	25	25	27	25	25	27	25	24	23	23	26	実績		26	26	25	26	24	25	28	25	25	24	24	26	目標数	予定		260	250	250	270	250	250	270	250	240	230	230	260	実績		316	275	284	315	298	313	299	294	292	256	262	298
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																														
営業日	予定		26	25	25	27	25	25	27	25	24	23	23	26																																																														
	実績		26	26	25	26	24	25	28	25	25	24	24	26																																																														
目標数	予定		260	250	250	270	250	250	270	250	240	230	230	260																																																														
	実績		316	275	284	315	298	313	299	294	292	256	262	298																																																														
今後の課題	・現在、個別訓練・運動療育をプログラムとして取りいれており、引き続き実施していきながら得意な事・好きな事を取り入れていく中で成長を促していきたい。 ・日々の支援と専門職による訓練を融合し、子どもの特性や課題を共有し、進学・進級時の切れ目のない支援を行う ・自然体験や園芸・野外活動を充実させることが出来る様に周辺の開拓・整備を行う ・登校困難児に対して支援体制を整え提供できる職員の育成・研修を行い、支援体制を整える ・休みやキャンセルを減らす																																																																											

令和6年度 事業報告書

事業所名	ケアステーションあいの	実施事業名	生活介護事業																																																																				
事業方針	・医療、介護、栄養等の専門職が連携し、各々が専門性を発揮し、障がいの特性や個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスの提供に努める ・基本的な日常生活支援に加え、個々のニーズに合わせた「自立生活」「作業」「創作」「リハビリ」の4つのチーム活動やレクリエーション、クラブ活動、行事への参加など生活をより豊かにするためのプログラムを取り入れる ・福祉QC活動によりサービスの質を追求するとともに職員の支援技術向上に努める ・介護保険を含めライフステージを見据えた支援をご本人やご家族とともに考え意向に沿った支援に努める ・定員28名、人員体制配置1.7：1で実施する ・地域生活支援事業（日中一時支援）を実施し、日中一時の支援を必要とする方の受入れを行う（対象地域：雲仙市、諫早市、島原市）																																																																						
令和6年度の重点目標に対する事業の成果	・利用定員28名。平均利用26.3名（区分5,6の利用割合67.7%、送迎割合70.1%） ・新規利用者0名 ・契約修了者6名（介護保険3名、施設入所1名、他事業所1名、日中一時1名） ・3年計画による定員の見直し(28名から20名へ)の第一段階として、定員25名(1.5：1)に向けて段階的な利用調整を行った ・報酬改定によりサービス提供時間毎の報酬体系になるが、送迎時間の変更等でサービス提供時間を確保したことにより、基本報酬の大きな減少はなかった ・余暇活動のひとつとしてクラブ活動を取り入れた。またボッチャについては新たに雲仙市主催の大会に協力する等、日頃の練習の成果を発揮する場面が増えた ・作業活動に意欲的な利用者様を対象にワークセンター協力のもと、B型ステップアップ交流体験を継続、作業のみならず生活面の向上も見られた ・作業活動においては新たに木工作業を取り入れたが、製品の完成や作業の定着に至っていない <table><tr><td></td><td></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>25</td><td>25</td><td>23</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>26</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>25</td><td>28</td><td>25</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td>702</td><td>675</td><td>675</td><td>702</td><td>675</td><td>675</td><td>729</td><td>675</td><td>675</td><td>621</td><td>648</td><td>702</td></tr><tr><td>実績</td><td>741</td><td>698</td><td>673</td><td>697</td><td>644</td><td>676</td><td>721</td><td>651</td><td>638</td><td>603</td><td>601</td><td>657</td></tr></table> 年間営業日（予定）302日（実績）304日 延べ利用者数（予定）8,154名（実績）8,000名 ※追加説明 利用平均（予定）27.0名（実績）26.3名 ・台風接近により臨時休業（8/29）					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	26	25	25	26	25	25	27	25	25	23	24	26	実績	26	26	25	26	24	25	28	25	25	24	24	26	目標数	予定	702	675	675	702	675	675	729	675	675	621	648	702	実績	741	698	673	697	644	676	721	651	638	603	601	657
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																										
営業日	予定	26	25	25	26	25	25	27	25	25	23	24	26																																																										
	実績	26	26	25	26	24	25	28	25	25	24	24	26																																																										
目標数	予定	702	675	675	702	675	675	729	675	675	621	648	702																																																										
	実績	741	698	673	697	644	676	721	651	638	603	601	657																																																										
今後の課題	・人員配置体制や提供すべきサービスの見直しを踏まえた活動チーム及び日課の見直し ・作業活動における工賃規定の抜本的な見直し ・ご本人やご家族のニーズに合わせた日曜日営業の検討 ・障害の程度に合わせた支援が適切かつ安全に実施できるよう、対象利用者や活動場所確保のための定員減少、職員体制の見直しを行う（定員28名→20名へ）＊3年計画 ・医療的ケアが必要な利用者様の受入れを含め、対象利用者様の範囲を検討＊3年計画 ・65歳到達の利用者様への介護保険への移行をサポートする ・職員の確保及び育成																																																																						

45

令和6年度 事業報告書

事業所名		ケアステーションあいの		実施事業名		短期入所（単独型）								
事業方針		・短期入所定員（6床）をフルに活用し、短期入所を希望する利用者やご家族の要望に沿えるよう、また緊急時に安心して生活できるよう支援体制を整える ・相談支援事業所や学校等関係機関との連携により、ニーズを把握し調整する ・家族との良好な関係性により、相談しやすい環境づくりと介護負担の軽減を図る ・利用者の特性や必要な支援に合わせた支援体制を整え、安心して快適な生活空間を提供する（直接的な支援はより丁寧に、間接的な支援は効率的に） ・自立した生活のための個別支援を希望する利用者へ、配膳や洗濯・寝具の準備など日常生活のスキルを高めるための支援を行う ・雲仙市地域生活拠点事業の指定事業所として、緊急時の受入れ・相談に協力する ・定員6名で実施する												
		[短期目標] ・将来それぞれ自立した生活を送るために必要な生活訓練プログラムを具体化し実施する →メンバーを選定しご本人の同意のもとで洗濯や清掃、翌日の準備を中心に行っているが、具体的に自立した生活を想定した道具の準備までには至らなかった ・職員の確保及び定着のため、勤務体制の見直しを行う（宿直入り時間の見直し） →宿直入りを19:30とし、生活支援業務と宿直業務を明確にした。利用者受入れ調整については受け入れ人数、支援の程度等できる限り偏りがないよう調整した ・館内の環境整備、衛生保持に努める →生活介護と連携し、日中活動の生活訓練として清掃や洗濯を行う等工夫した ・雲仙市地域生活拠点事業として緊急受入れを行った（1件 ※児童2名） [長期目標(3年以内)] ・利用料について社会情勢に合わせた単価の見直しを行う →入浴料について、生活介護同様100円の利用料を設定した。その他、社会情勢に合わせて随時検討が必要 ・夜間の支援体制について、利用者の支援程度や成長に合わせた支援方法を構築する →支援の内容に応じた生活支援員の配置や、見守りカメラ・眠りスキャン等のICT機器を利用した方法により夜間は宿直者1名で対応できる体制を構築した												
令和6年度の重点目標に対する事業の成果			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	営業日	予定	30	26	30	31	27	30	31	30	27	26	28	31
		実績	25	24	25	25	24	25	27	27	25	25	26	29
	目標数	予定	165	145	165	170	150	165	170	165	150	145	155	170
		実績	163	160	153	152	137	182	189	187	169	186	162	187
	年間営業日（予定）347日（実績）307日													
	延べ利用者数（予定）1,915名（実績）2,032名													
	※追加説明 利用平均（予定）5.5名（実績）6.6名													
	・ご利用の希望を尊重しつつ計画的に閉館する日をつくる様な利用調整やグループホームの短期入所と連携して職員体制を整えた ・台風接近により臨時休業（8/28～29）													
	今後の課題	・登録者数50名を維持することにより、日中事業所の利用者確保に繋げる ・将来それぞれの自立した生活を送るために必要な生活訓練プログラムを具体化し実施することで個々の成長と、特別支援学校等へアピールすることで利用へと繋げる ・週末の営業については、今後生活介護の日曜営業と併せて調整する ・自然災害など地域の福祉避難所として機能を備える												

令和6年度 事業報告書

事業所名		キッズステーションあいの				実施事業名		放課後等デイサービス事業																																																																									
事業方針		・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・集団療育と個別療育を明確にし、個々の成長に合わせた特色ある支援を提供する ・自立支援協議会(子ども支援部会)への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する ・児童発達支援、アクティビティセンターあいのと連携し、子供の成長に沿った途切れのない支援を行う ・児童発達支援事業を通じて定員 10 名で実施する																																																																															
令和6年度の重点目標に対する事業の成果		・2名の児童を児童発達支援から放課後等デイサービスの利用へ繋げることができた新規で2月より1年生1名もサービスの利用を開始した ・2名の児童がキッズステーションからアクティビティセンターへ移行することができた 短期目標：(1年以内) ・保育士や作業療法士などが連携し、専門性を活かした支援を行うとともに専門職としてのスキルアップを図る⇒日々の打ち合わせの中で連携を確認しながら支援を行った ・発達障害への理解を深めるための専門的な研修を受けることによりプログラムの多様化と支援技術を高める(こども医療福祉センターの協力) ⇒保育士1名が地域療育短期実習に参加し、習得した支援技術を他の職員へも共有できた ・一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、ご家族同席のサービス担当者会議等、支援者は子供の成長のための助言ができる力を身につける ⇒送迎時のご家族との会話や定期的なモニタリングの際に情報共有及び助言ができた ・個別支援計画書等において5領域とのつながりを明確化した上でプログラムを作成し、総合的な支援を行う ⇒ガイドライン改訂(7月)に対応し子どもの特性に合わせた個別支援計画書を作成し、5領域との関連性を明確化した支援プログラムの作成・公表を行った 長期目標(3年以内) ・屋外遊具を含む自然体験学習の場所を段階的に整備していく⇒前年度に設置したブランコ横に木製遊具を設置。今後も遊具などを設置し、継続して整備を行う ・保育士等の有資格者を確保する⇒10月に保育士1名が入職(保育所での勤務経験あり) <table><tr><td colspan="2"></td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>27</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>25</td><td>25</td><td>26</td><td>24</td><td>25</td><td>27</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">利用数</td><td>予定</td><td>235</td><td>225</td><td>225</td><td>235</td><td>225</td><td>225</td><td>245</td><td>225</td><td>220</td><td>220</td><td>220</td><td>235</td></tr><tr><td>実績</td><td>282</td><td>271</td><td>269</td><td>280</td><td>264</td><td>264</td><td>275</td><td>260</td><td>244</td><td>261</td><td>256</td><td>283</td></tr></table> 年間営業日 (予定) 302日 (実績) 301日 延べ利用者数 (予定) 2,735名 (実績) 3,209名 利用平均 (予定) 9.0名 (実績) 10.7名														4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	26	25	25	26	25	25	27	25	24	24	24	26	実績	26	25	25	26	24	25	27	25	24	24	24	26	利用数	予定	235	225	225	235	225	225	245	225	220	220	220	235	実績	282	271	269	280	264	264	275	260	244	261	256	283
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																				
営業日	予定	26	25	25	26	25	25	27	25	24	24	24	26																																																																				
	実績	26	25	25	26	24	25	27	25	24	24	24	26																																																																				
利用数	予定	235	225	225	235	225	225	245	225	220	220	220	235																																																																				
	実績	282	271	269	280	264	264	275	260	244	261	256	283																																																																				
今後の課題		・営業時間及びサービス提供時間についてご家族のニーズや実態に合わせた見直し ・プログラムの多様化と支援技術の向上及び保育士のスキルアップ ・屋外遊具の整備と自然体験学習のための場所の整備																																																																															

令和6年度 事業報告書

事業所名	キッズステーションあいの	実施事業名	児童発達支援事業																																																																																			
事業方針	・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める ・集団療育と個別療育を明確にし、個々の成長に合わせた特色ある支援を提供する ・自立支援協議会(子ども支援部会)へ参加し、発達が気になる子どもの把握と地域で子どもの発達を支援する ・放課後等デイサービスと連携し、子どもの成長に沿った途切れのない支援を行う ・放課後等デイサービス事業を通じて定員 10 名で実施する ・週 3 回の療育 (月・水・金) 及び支援時間 (1 時間 30 分～3 時間) を確保する																																																																																					
令和6年度の重点目標に対する事業の成果	・6名の児童、週2回の営業でスタートするも10月より1名、12月より1名が利用開始されたため月・水曜日の営業に加え12月より金曜日の営業を開始した 短期目標：(1年以内) ・言語聴覚士・理学療法士の専門性を活かした訓練を行うとともに、保育士との連携による支援技術の向上を図る⇒役割を明確にした上で訓練を行い、支援後の振り返りを行った ・個別支援計画書等において5領域とのつながりを明確化した上でプログラムを作成し、総合的な支援を行う ⇒ガイドライン改訂(7月)に対応し子どもの特性に合わせた個別支援計画書を作成するとともに、5領域との関連性を明確化した支援プログラムの作成・公表を行った ・個別の記録について、専門職の訓練・療育の実施状況が反映される記録の整備 ⇒各専門職により支援ソフトに記録を入力し、次の療育へとステップアップすることができた 長期目標(3年以内) ・屋外遊具を含む自然体験学習の場所を段階的に整備していく⇒前年度に設置したブランコ横に木製遊具を設置。今後も遊具などを設置し、継続して整備を行う ・保育士等の有資格者を確保する⇒10月に保育士1名が入職(保育所での勤務経験あり) <table><tr><th colspan="2"></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td>13</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>12</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>実績</td><td>9</td><td>9</td><td>13</td><td>13</td><td>11</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td></tr><tr><td rowspan="2">利用数</td><td>予定</td><td>39</td><td>39</td><td>36</td><td>39</td><td>36</td><td>39</td><td>36</td><td>39</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>39</td></tr><tr><td>実績</td><td>22</td><td>28</td><td>23</td><td>23</td><td>22</td><td>25</td><td>31</td><td>21</td><td>24</td><td>30</td><td>28</td><td>33</td></tr></table> <table><tr><td>年間営業日</td><td>(予定)</td><td>150日</td><td>(実績)</td><td>142日</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>(予定)</td><td>450名</td><td>(実績)</td><td>310名</td></tr><tr><td>利用平均</td><td>(予定)</td><td>3名</td><td>(実績)</td><td>2.2名</td></tr></table>					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	営業日	予定	13	13	12	13	12	13	12	13	12	12	12	13	実績	9	9	13	13	11	13	13	13	13	12	12	11	利用数	予定	39	39	36	39	36	39	36	39	36	36	36	39	実績	22	28	23	23	22	25	31	21	24	30	28	33	年間営業日	(予定)	150日	(実績)	142日	延べ利用者数	(予定)	450名	(実績)	310名	利用平均	(予定)	3名	(実績)	2.2名
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																									
営業日	予定	13	13	12	13	12	13	12	13	12	12	12	13																																																																									
	実績	9	9	13	13	11	13	13	13	13	12	12	11																																																																									
利用数	予定	39	39	36	39	36	39	36	39	36	36	36	39																																																																									
	実績	22	28	23	23	22	25	31	21	24	30	28	33																																																																									
年間営業日	(予定)	150日	(実績)	142日																																																																																		
延べ利用者数	(予定)	450名	(実績)	310名																																																																																		
利用平均	(予定)	3名	(実績)	2.2名																																																																																		
今後の課題	・保育所等訪問支援事業開始を視野に入れ、地域資源の一つとしての協力体制の構築 ・リハビリ専門職の専門性を活かしつつ保育士との連携による支援技術の向上 ・療育、訓練に必要な教材や備品の購入・整備																																																																																					

48

令和6年度 事業報告書

事業所名		ステラ	実施事業名	相談支援事業（者・児）									
事業方針	・関係法令を遵守し、利用者様に対して必要な特定相談支援事業、障害児相談支援事業を適正に提供する ・利用者様の特性に応じて自立した日常生活または社会生活を営むことができる様、必要な情報の提供、サービスの調整等を行う ・利用者様の意思及び人格を尊重して、常に利用者様の立場に立ったサービスの提供に努める。その為、できる限り他法人の利用者様の計画相談を中心に行う ・地域との結びつきを重視し、市町村や障害福祉サービス事業所等との連携を図り、地域において必要な社会資源の改善、開発に努める ・実施対象地域は雲仙市、諫早市、島原市（その他は要相談）とする ・雲仙市自立支援協議会（相談支援部会）へ参加し、他の相談支援事業所と連携しながら地域の課題に取り組む ・雲仙市地域生活拠点事業の指定事業所として、緊急時の相談支援・対応に努める ・福祉系大学や専門学校等と連携し実習生の受入れを積極的に行う												
	特定相談支援登録者数・利用実績件数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	雲仙市	34	34	34	33	33	33	33	34	34	34	34	36
	諫早市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	南島原市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	唐崎市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	対馬市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	江北町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	金沢市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
天草市							2	2	2	2	2	2	
苓北町							1	1	1	1	1	1	
登録者数	44	44	44	43	43	43	46	47	47	47	47	49	
利用支援	7	4	3	2	4	0	4	3	1	1	1	10	
利用継続	7	4	9	8	4	11	5	2	13	12	4	15	
請求件数	6	5	8	7	6	9	8	4	12	10	1	17	
合計 93													
障がい児相談支援登録者数・利用実績件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
雲仙市	60	61	59	59	57	57	60	61	62	61	63	59	
諫早市	4	4	4	6	5	5	5	5	5	5	5	7	
島原市								2	2	2	2	2	
登録者数	64	65	63	65	62	62	65	68	69	68	70	68	
利用支援	4	3	2	56	4	7	4	9	6	7	6	6	
利用継続	4	3	56	9	9	14	9	11	12	10	22	17	
請求件数	4	4	2	59	6	16	7	15	8	14	14	15	
合計 164													
今後の課題	・体制加算対象となる研修については全て受講済み（パンフレット等にも明記）												
	・今後の相談支援事業所のあり方について ・雲仙市地域生活拠点事業の指定事業所として、緊急時の相談支援・対応に努める ・相談支援専門員の育成のための研修会参加及び先進地視察 ・新規体制加算対象の研修の受講												

令和6年度 事業報告書

事業所名		星のホームあいの		実施事業名		共同生活援助／短期入所																																																																																
事業方針		1. 地域との結びつきを重視し、奉仕活動、自治会活動、各種行事等に積極的に参加し地域貢献に努め、入居者は地域住民として認知され、安全で安心した普通の暮らしが出来る様支援を行う 2. 住民は、バリアフリーで整備し車椅子利用者でも安全で安心して日常生活が過ごせる様な支援を行う 3. 現在満床な為短期入所は空床型である																																																																																				
令和6年度の重点目標に対する事業の成果		【短期目標】 ・地域住民として毎月1回の奉仕活動や各種行事に積極的に参加する → 利用者様の休みの日を利用してディプスを着用してクリーンウォークを実施した。地域の恒例行事においては積極的に参加を行う ・希望に沿って休日を有効に過ごせる様に支援する → 数名での外食や買い物に行き希望の品を購入する事が出来た ・個別には移動支援サービスを利用して個人のニーズに合った支援を行う → 移動支援を利用して帰省したり、ボーリングや映画を観に行ったり衣類購入や外食をしたり個々にあった支援を行った。 ・毎日が楽しく過ごせるように健康面・衛生面に留意して支援を行う → 急な体調の変化など緊急を要する場合には日中事業所の兼務職員と連携し、速やかに病院受診を行った。利用者様の体調の変化や衛生面においても、日中事業所を含めた法人全体で対応できることで大変安心感が持てた。 ・65歳問題に取り組み介護保険優先をご家族に理解して貰い手続き等も前向きに実施して頂き2名の方が待機待ちである。 *1名の方が4月8日に特別養護老人ホームに入所となる。 <table><tr><td colspan="2"></td><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td rowspan="2">営業日</td><td>予定</td><td></td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>28</td><td>31</td></tr><tr><td>実績</td><td></td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td><td>31</td><td>31</td><td>28</td><td>31</td></tr><tr><td rowspan="2">目標数</td><td>予定</td><td></td><td>270</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>270</td><td>279</td><td>279</td><td>252</td><td>279</td></tr><tr><td>実績</td><td></td><td>289</td><td>294</td><td>295</td><td>302</td><td>293</td><td>293</td><td>303</td><td>288</td><td>294</td><td>264</td><td>275</td><td>301</td></tr></table> 年間営業日 (予定) 365日 (実績) 365日 延べ利用者数 (予定) 3,285名 (実績) 3,491名 利用平均 (予定) 10名 (実績) 9.56名 ※追加説明 *R7.3.31現在 ・1月に1名の方が2週間程の入院をされた為実績が減少している。 ・現在、区分6(2名)、区分5(4名)、区分4(3名)、区分3(1名)で障害が重い利用者様も多く入居されており、疾病や災害等に最大限配慮を行う。														月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	営業日	予定		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	実績		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	目標数	予定		270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	実績		289	294	295	302	293	293	303	288	294	264	275	301
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																								
営業日	予定		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31																																																																								
	実績		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31																																																																								
目標数	予定		270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279																																																																								
	実績		289	294	295	302	293	293	303	288	294	264	275	301																																																																								
今後の課題		・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策は引き続き徹底していく。 ・休日や余暇の過ごし方について。 ・65歳到達の利用者様については、利用者様の心身の状態に合ったサービスは何かをご本人やご家族、関係機関等と話し合い、介護保険優先とし本人に無理のない様な将来を共に考えて行きたい。 ・今後は若い年齢層で出来るだけADLが自立に近い状態の入居者を促進して行きたい。																																																																																				

50